

新光ブラジル債券ファンド

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引き立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

さて、ご投資いただいております「新光ブラジル債券ファンド」は、2019年6月10日に第124期決算を行いました。

当ファンドは、ブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資することによって、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指すことを目的として運用を行います。当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに第119期から第124期までの運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年12月11日～2019年6月10日

第119期	決算日：2019年1月8日	
第120期	決算日：2019年2月8日	
第121期	決算日：2019年3月8日	
第122期	決算日：2019年4月8日	
第123期	決算日：2019年5月8日	
第124期	決算日：2019年6月10日	
第124期末 (2019年6月10日)	基準価額	1,882円
	純資産総額	47,867百万円
第119期～ 第124期	騰落率	5.0%
	分配金合計	120円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

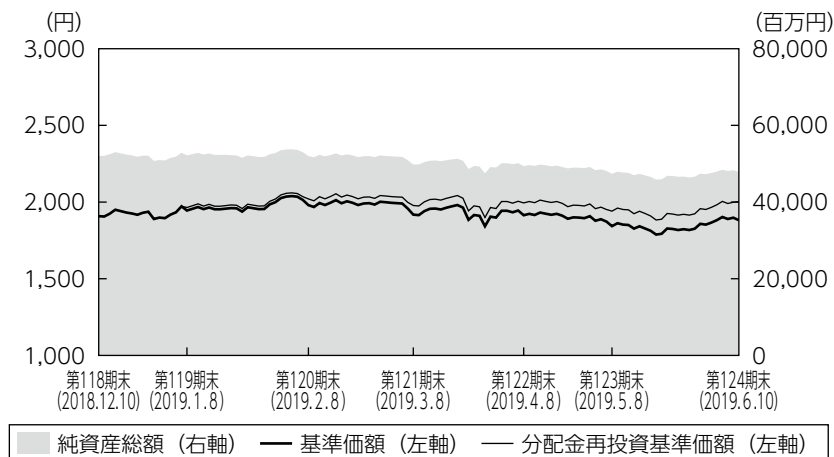
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第119期首： 1,908円
 第124期末： 1,882円
 (既払分配金120円)
 騰落率： 5.0%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ（以下、ブラジルボンド・ファンド）投資証券等への投資を通じてブラジルリアル建てのブラジル国債などに投資を行いました。その結果、ブラジル国債が堅調に推移したことなどを背景に基準価額は上昇しました。

【主な上昇要因】

- ・ブラジル債券投資における利息収入
- ・債券市場の上昇（利回り低下）

【主な下落要因】

- ・円高ブラジルリアル安

1 万口当たりの費用明細

項目	第119期～第124期 (2018年12月11日 ～2019年6月10日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	12円	
(投信会社)	(5)	(0.242)	
(販売会社)	(7)	(0.377)	
(受託会社)	(1)	(0.027)	
(b) その他費用	2	0.088	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(2)	(0.087)	
(監査費用)	(0)	(0.001)	
合計	14	0.734	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

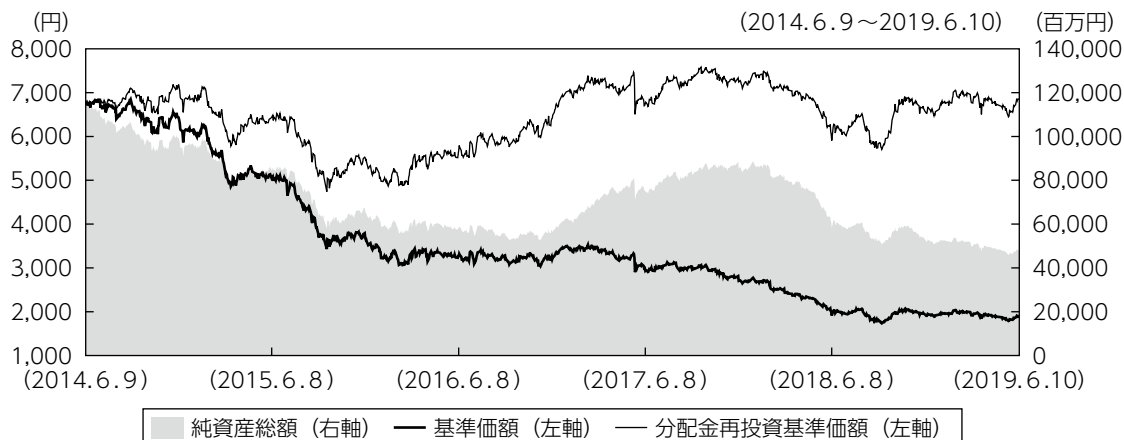
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。

(注5) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては組入ファンドの概要に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2014年6月9日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2014年6月9日 決算日	2015年6月8日 決算日	2016年6月8日 決算日	2017年6月8日 決算日	2018年6月8日 決算日	2019年6月10日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	6,724	5,042	3,251	2,940	1,912	1,882
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,440	1,140	900	795	320
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△4.3	△11.9	19.1	△12.6	16.1
純資産総額 (百万円)	115,451	84,506	57,817	74,390	58,151	47,867

- (注1) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切り捨てて表示してあります。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注4) 実質的にブラジルレアル建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いますが、特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

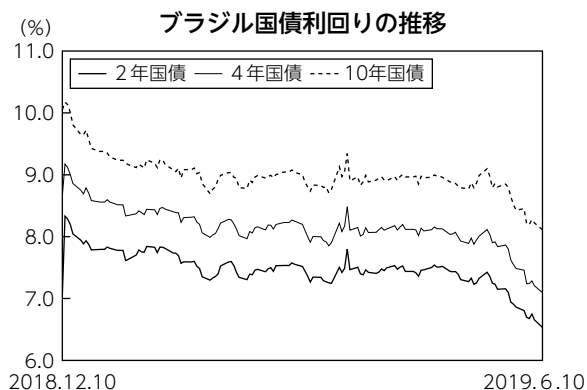
投資環境

● ブラジル経済

年金改革に対する期待が一時先行きの景気見通しを改善させましたが、経済指標は低調となりました。このような中、2019年1－3月期の実質GDP（国内総生産）は輸出と投資のマイナスなどから前期比でマイナス成長となりました。年金改革においては法案成立へ向けて徐々に歩みを進めていますが、年金の削減規模など依然として課題が残りました。

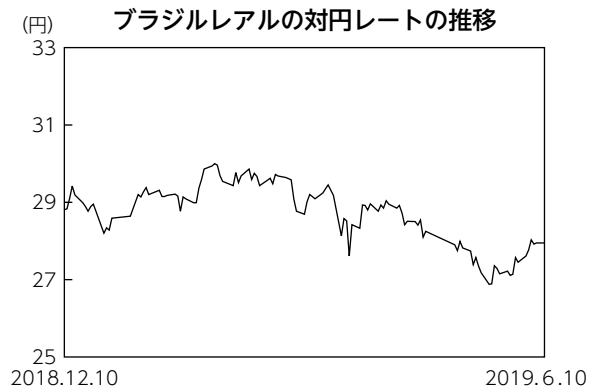
● ブラジル債券市場

ブラジル国債利回りは低下（価格は上昇）しました。景気の減速懸念やインフレの落ち着きを背景に利上げ観測が後退したことなどから利回りが低下しました。また、作成期末にかけては利下げ観測が台頭し始め、債券利回りは低下幅を拡大しました。



● 為替市場

ブラジルレアルは年金改革法案に対する不透明感などから値動きの荒い動きとなりましたが、対米ドルでは前作成期末と比較してほぼ変わらずとなりました。対円では、米中間の貿易問題に対する懸念や、米国の利下げ観測の高まりなどが円高要因となったことから円高ブラジルレアル安となりました。



● 短期金融市場

3ヵ月物国庫短期証券の利回りは日銀の短期国債の買い入れ姿勢や海外勢の需要などを睨み、マイナス圏で推移しました。

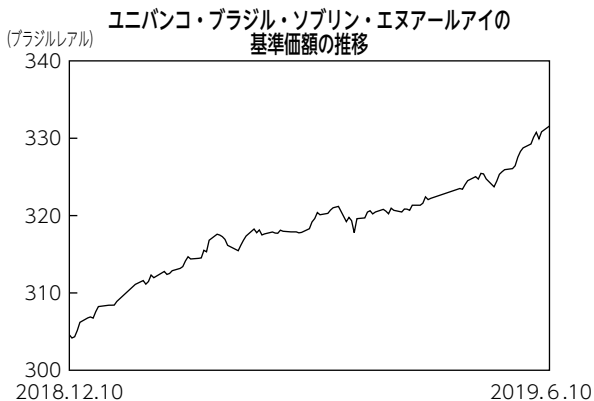
■ ポートフォリオについて

● 当ファンド

資金動向に応じてブラジル債券・ファンドの売買を行い、作成期間を通じてブラジル債券・ファンドの高位組入れを維持しました。また、短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

● ブラジル債券・ファンド

安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルリアル建てのブラジル国債を高位に組み入れて運用を行いました。ポートフォリオの構築は、ブラジルの経済状況、金融政策見通し、債券市況の動向などを分析して、変動金利国債、割引国債、利付国債、物価連動国債の各組入比率を機動的に変更させるとともに、銘柄の投資価値などを分析して行いました。当作成期間においては、物価上昇の可能性を考慮し物価連動債を中心にポートフォリオを構築しました。デューレーションは長期ゾーンの投資妙味が高いと判断し、長期化した水準を維持しました。



※当作成期間における分配金（累計）を加算しています。

● 短期公社債マザーファンド

主としてわが国の短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

実質的にレアル建ての公社債に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。特定の指数を上回るまたは連動を目指した運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。したがって、グラフは掲載しておりません。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期	第124期
	2018年12月11日 ～2019年1月8日	2019年1月9日 ～2019年2月8日	2019年2月9日 ～2019年3月8日	2019年3月9日 ～2019年4月8日	2019年4月9日 ～2019年5月8日	2019年5月9日 ～2019年6月10日
当期分配金（税引前）	20円	20円	20円	20円	20円	20円
対基準価額比率	1.018%	1.000%	1.032%	1.034%	1.074%	1.052%
当期の収益	20円	20円	20円	20円	20円	20円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	846円	855円	863円	871円	878円	886円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

〈市況見通し〉

ブラジル経済は、足元で経済指標が伸び悩んでおり、景気回復に遅れが見られます。大統領の公約である年金改革は前進しておりますが、引き続き年金の削減規模や成立時期などは注目されます。

ブラジルの政策金利は、景気の伸び悩みに加え、インフレ圧力の落ち着きが窺えることから2019年内の利下げの可能性も浮上してきました。債券市場においては利下げの織り込みが進んでいないこともあり、中長期的に底堅い動きを想定しています。

為替に関しては、レアルは、世界的な景気動向など国外情勢のほか、ボルソナロ政権の議会運営など国内の政治動向を睨み値動きの荒い場面も想定されますが、年金改革法案が年内に可決する可能性を考慮すると中長期的に上昇する可能性があるかと想定しています。このような環境下、レアルの動きに注視しながら、ブラジル中銀は必要に応じて為替介入を実施し、過度な値動きの抑制を図ると考えています。

〈運用方針〉

●当ファンド

資金動向や市況動向などを考慮しながら、ブラジルボンド・ファンドを高位に組み入れて運用を行う方針です。また、国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

●ブラジルボンド・ファンド

引き続き、安定した利息収入の確保を目指し、ブラジルレアル建てのブラジル国債を高位に組み入れる方針です。ポートフォリオの構築は、ブラジルの経済状況、金融政策見通し、債券市況の動向などを分析して、変動金利国債、割引国債、利付国債、物価連動国債の各組入比率を機動的に変更させるとともに、銘柄の投資価値などを分析して行いました。今後は、債券市場の値動き等に注視しつつ、現状程度のデュレーション水準を維持する方針です。加えて、引き続きイーールドカーブの形状などに注視しながら機動的にポートフォリオを構築していく方針です。

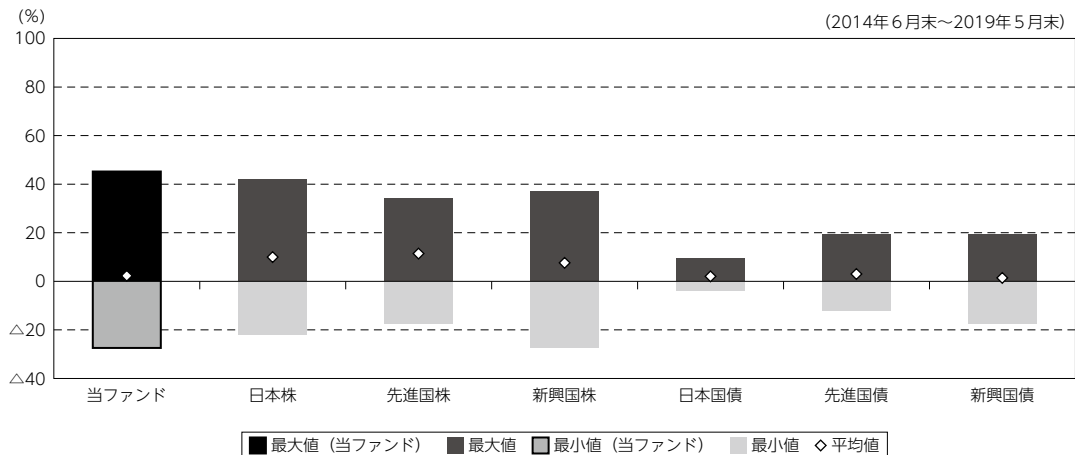
●短期公社債マザーファンド

金利水準等に注視しながらわが国の短期公社債を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指しますが、市場環境によっては、目標とする運用ができない場合があります。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年12月22日から2023年12月8日（当初2018年12月10日）まで。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光ブラジル債券ファンド	①ブラジル籍外国投資法人 ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの投資証券（ブラジルリアル建） ②内国証券投資信託（親投資信託） 短期公社債マザーファンドの受益証券
	ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイの投資証券	ブラジルリアル建てのブラジル国債
	短期公社債マザーファンド	わが国の公社債
運用方法	投資信託証券を通じて、主としてブラジルリアル建てのブラジル国債に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 各投資信託証券への投資割合は、資金動向や市況動向などを勘案して決定するものとし、ブラジルボンド・ファンドの組入比率は、原則として高位とすることを基本とします。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を行うことを目標に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	45.2	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△27.5	△22.0	△17.5	△27.4	△4.0	△12.3	△17.4
平均値	2.3	10.0	11.4	7.6	2.0	3.0	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年6月から2019年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

各資産クラスの騰落率について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しております。株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、株式会社野村総合研究所及び各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2019年6月10日現在）

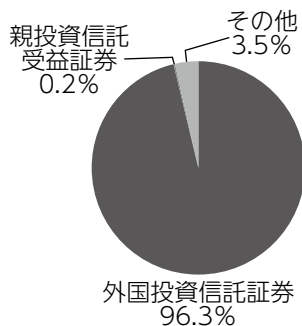
◆組入ファンド等

	第124期末
	2019年6月10日
ユニバンク・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ	96.3%
短期公社債マザーファンド	0.2
組入銘柄数	2銘柄

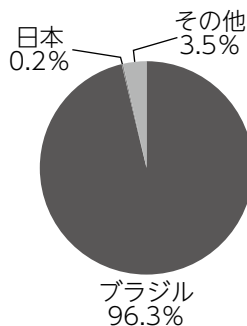
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載してあります。

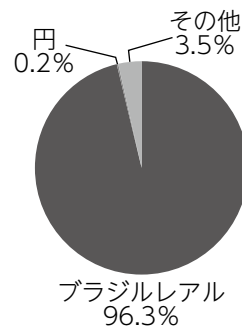
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

(注3) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

純資産等

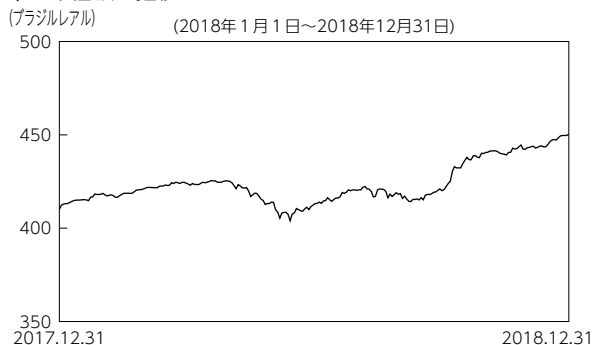
項目	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末	第124期末
	2019年1月8日	2019年2月8日	2019年3月8日	2019年4月8日	2019年5月8日	2019年6月10日
純資産総額	52,165,071,237円	51,999,925,192円	49,804,715,832円	49,372,884,711円	47,362,779,030円	47,867,334,024円
受益権総口数	268,136,381,369口	262,657,892,984口	259,699,201,384口	257,933,981,868口	257,017,341,110口	254,364,076,049口
1万口当たり基準価額	1,945円	1,980円	1,918円	1,914円	1,843円	1,882円

(注) 当作成期間（第119期～第124期）における追加設定元本額は11,449,844,549円、同解約元本額は29,883,854,266円です。

組入ファンドの概要

[ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ]

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

(2018年1月1日～2018年12月31日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

◆組入上位10銘柄

(2018年12月31日現在)

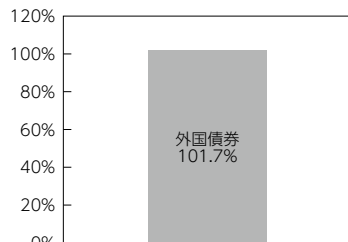
	銘柄名	最終利回り	償還年月日	比率
		%		%
1	NTN-B (物価連動国債)	4.23	2023/5/15	18.1
2	LTN (割引国債)	6.93	2020/7/1	14.6
3	NTN-B (物価連動国債)	4.08	2022/8/15	13.8
4	LTN (割引国債)	6.38	2019/4/1	10.9
5	NTN-B (物価連動国債)	2.76	2019/5/15	6.1
6	NTN-F (利付国債)	8.52	2023/1/2	6.0
7	NTN-B (物価連動国債)	4.97	2050/8/15	4.4
8	NTN-B (物価連動国債)	3.44	2021/5/17	4.0
9	NTN-F (利付国債)	9.18	2027/1/4	3.6
10	NTN-F (利付国債)	9.03	2025/1/2	3.2
組入銘柄数		24銘柄		

(注1) 比率は、ユニバンコ・ブラジル・ソブリン・エヌアールアイ投資証券(ブラジルレアル建)の債券時価総額に対する評価額の割合で、小数第2位を四捨五入しています。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載してあります。

(注3) 上記の表は、イタウ・ユニバンコ・エス・エーが作成したデータをもとに記載してあります。

◆資産別配分



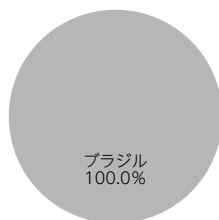
(注1) 資産別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示してあります。

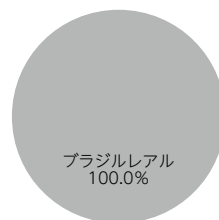
(注3) 国別配分、通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注4) 上記の表は、イタウ・ユニバンコ・エス・エー提供の財務書類等より作成してあります。

◆国別配分

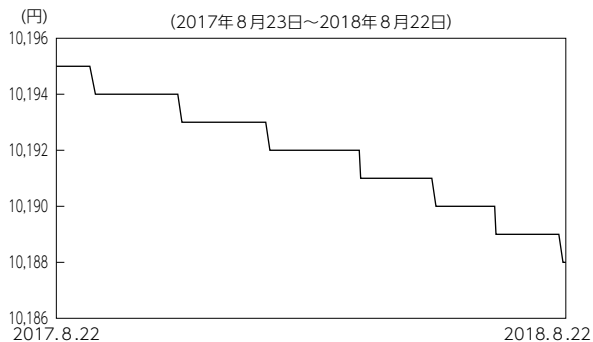


◆通貨別配分



【短期公社債マザーファンド】

◆基準価額の推移



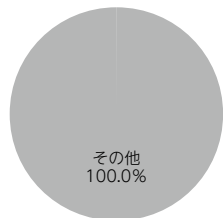
◆1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。(2017年8月23日～2018年8月22日)

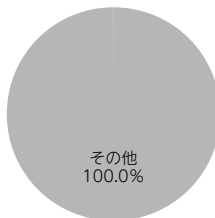
◆組入上位10銘柄

2018年8月22日現在、有価証券等の残高はございません。

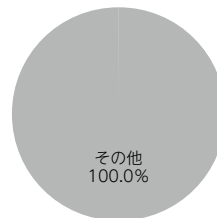
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) その他は、純資産総額から有価証券等を差し引いた数字です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。なお、合計は、四捨五入の関係で合わない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（株東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

